

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 本製品は、1階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。
- 施工手順は、「Gフレーム 取付説明書 (E248) G取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。

**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

**注意**

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

<施工上のご注意 つづき>

ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 給湯機や暖房機等の熱排気が製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）の可能性があります。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

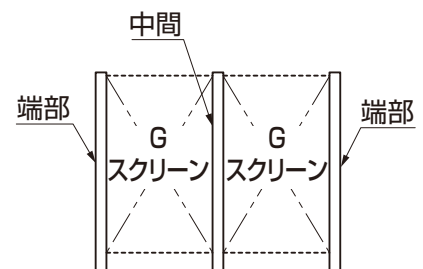
1. 施工の前の重要確認事項 ※施工時には下記の事項を厳守してください。

1-1 柱の確認

表1-1

		柱			サブ柱			ファンクション柱
		H24	H29	H35	H23 (※1)	H24	H29	
W15	0~6枚 (2段)	端部	○	○	○	○	○	△ (※2)
		中間	○	●	○	○	○	×
	6~15枚	端部	○	○	○	○	○	△ (※2)
		中間	○	●	○	●	○	×
W20-H15	端部	○	○	○	○	○	△ (※2)	
	中間	●	●	○	○	○	×	
W20	0~4枚 (1段)	端部	○	○	○	○	○	△ (※2)
		中間	○	●	○	○	○	×
	4~20枚	端部	○	●	○	○	○	△ (※2)
		中間	●	●	○	●	○	×

○…使用可能 ●…補強材が必要 △…制限あり ×…不可

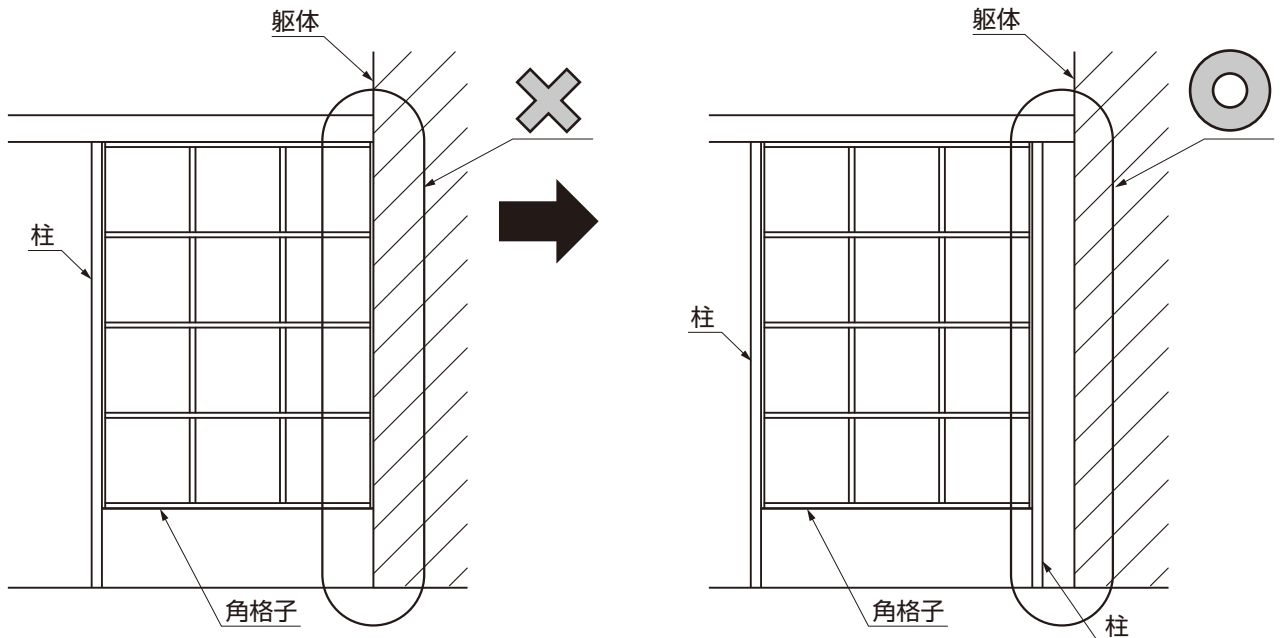


ポイント

- 上記 表1-1にしたがって柱・サブ柱・ファンクション柱の施工を行なってください。
- はスクリーン取付け高さH：2905以下です。
- 柱・サブ柱の取付けは「Gフレーム取付説明書 (E248)」を参照してください。
- ※1のサブ柱H23へのフレーム付け施工はできません。
- ※2は「Gフレーム - ファンクション柱 - 取付説明書 (A451)」の「1. 施工の前の重要確認事項」を参照してください。
- H35柱へのGスクリーン 角格子取付けの場合、高さH2905以上への取付けはできません。

1-2 角格子の施工について

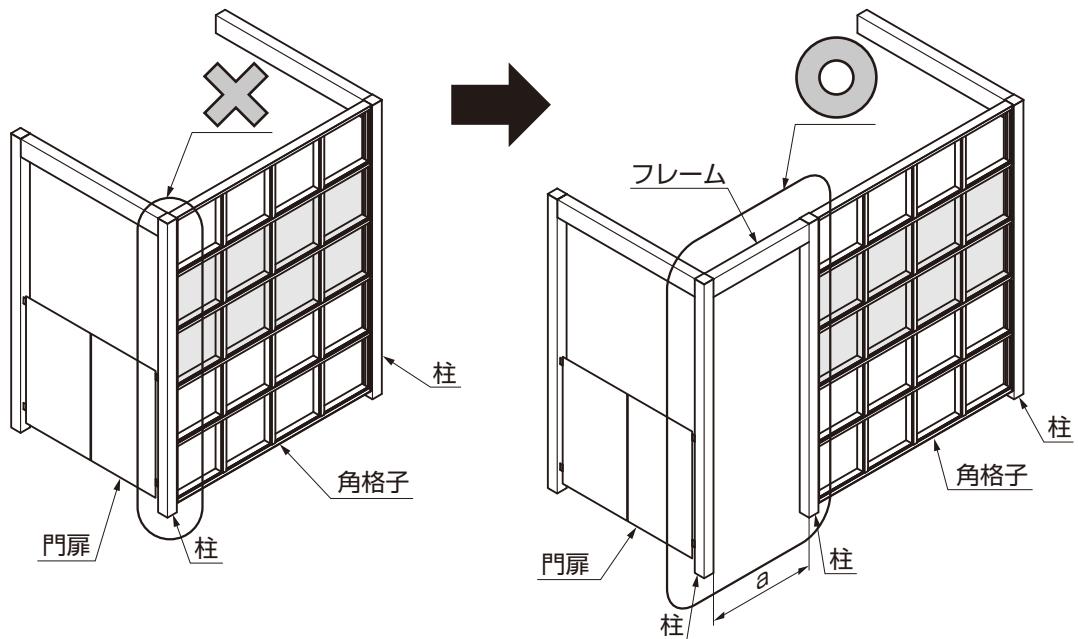
(1) 住宅壁際への設置について



ポイント

● 躯体（住宅壁）への突当て施工はできません。住宅壁側に柱を用いて縁をきる場合は施工できます。

(2) 門扉への90° 設置について



ポイント

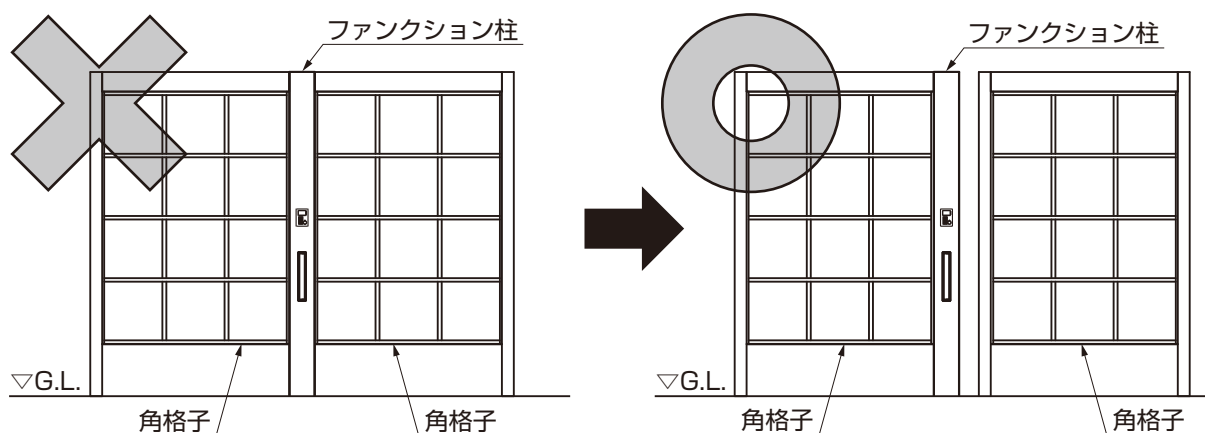
● 調整金具付き柱とのL型連結は施工できません。柱で縁を切って施工する場合はできます。

柱間の距離a寸法は

- ・ 調整金具を避ける場合は40mm以上にしてください。
- ・ ファンクション柱のポストを避ける場合は500mm程度にしてください。

1. (つづき)

(3) ファンクション柱へ角格子の設置について



ポイント





●ファンクション柱両側・前面・裏面への取付はできません。

2. 梱包明細表

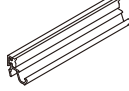


【1】角格子 本体セット

名 称	略 図	員 数				
		W15 5段パネル	W15 4段パネル	W20 5段パネル	W20 4段パネル	W20 3段パネル
角格子 共通用		1	1	1	1	-
角格子 下段用		1	1	1	1	-
角格子 上段用		1	-	1	-	-
角格子 3段用		-	-	-	-	1
格子カバー上用		1	1	1	1	2
目地塞ぎカバー		10	8	10	8	6
縦部材W20H15用		-	-	-	-	2
クッション材		4	4	4	4	-
【1-1】φ4×19ナベドリルネジ		24	16	44	28	20
取付説明書 Gスクリーン-角格子タイプ- (C366)	-	1	1	1	1	1
取扱説明書 Gスクリーン (UC019)	-	1	1	1	1	1

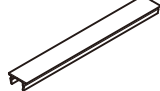
【2】 縦部材セット

名 称	略 図	員 数	
		W15	W20
縦部材W15用		2	-
縦部材W20用		-	2
【2-1】 φ4×19サラドリルネジ		4	-
【2-2】 φ4×19ナベドリルネジ		-	4


【3】 取付枠セット (マットパネル有)

名 称	略 図	員 数	
		W15	W20
先付け部材		6	8
後付けビート		6	8
縦用グレチャン		6	8

【4】 取付枠セット (マットパネル無)

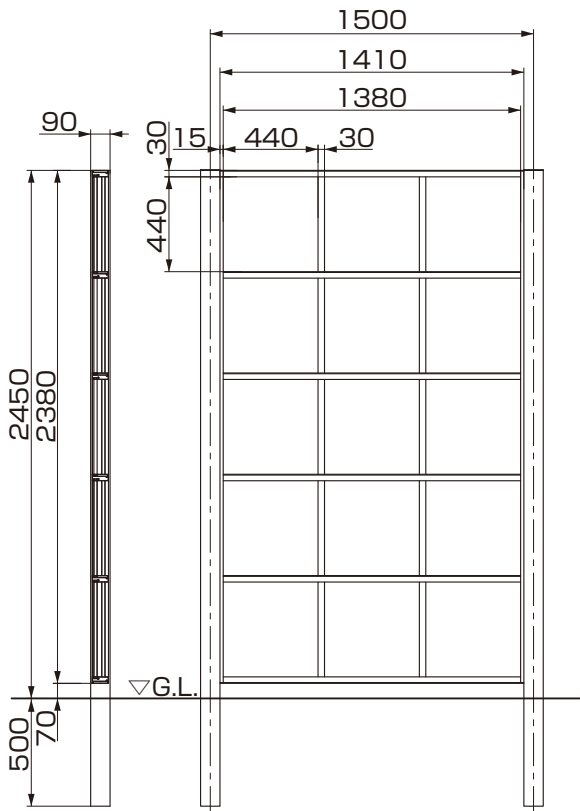
名 称	略 図	員 数	
		W15	W20
目地塞ぎカバー		12	16

【5】 パネルセット

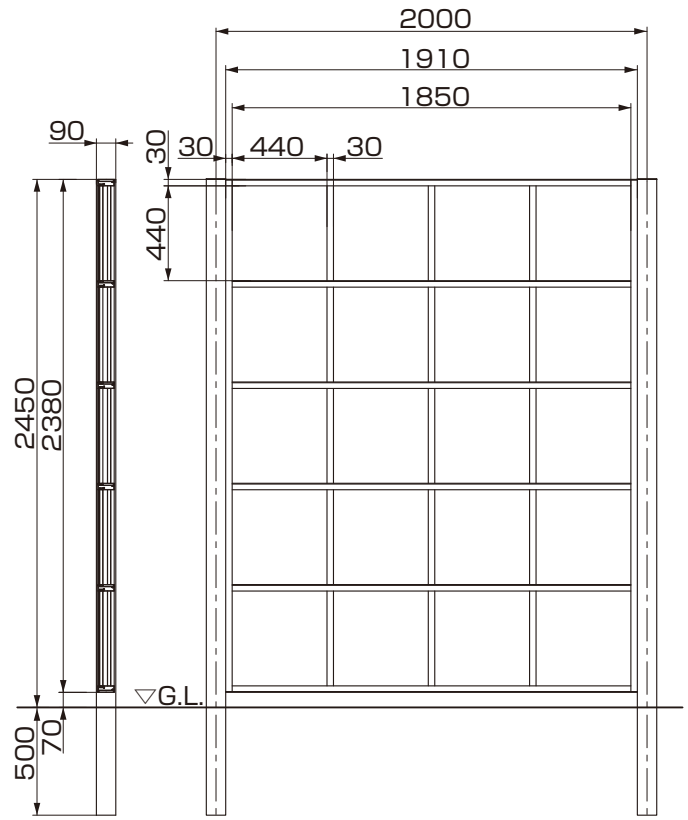
名 称	略 図	員 数	
		W15	W20
角格子用パネル		3	4

3. 基本寸法

(1) フレームレス仕様 W15

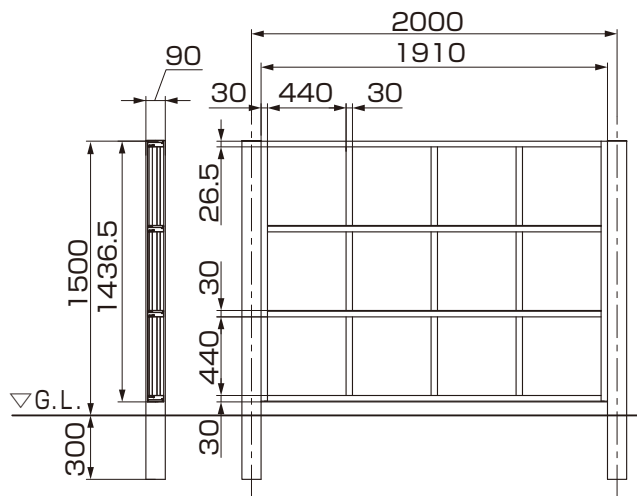


(2) フレームレス仕様 W20

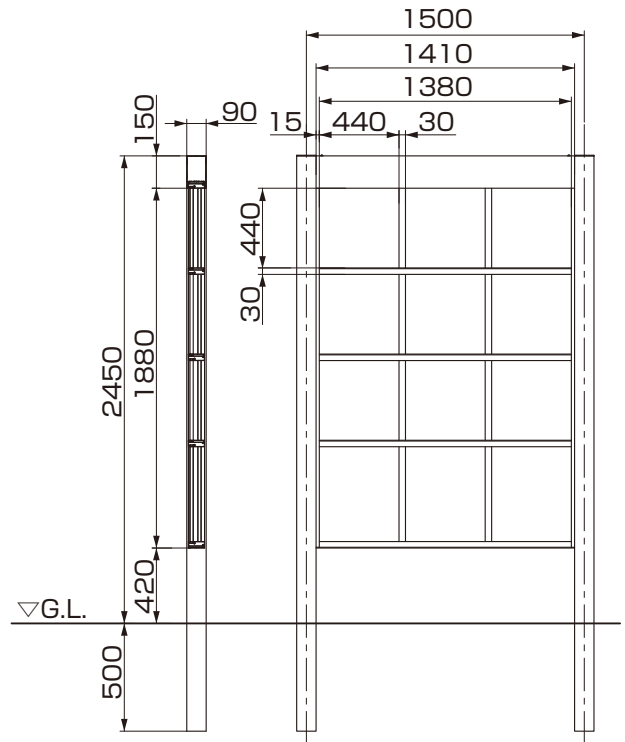


3. (つづき)

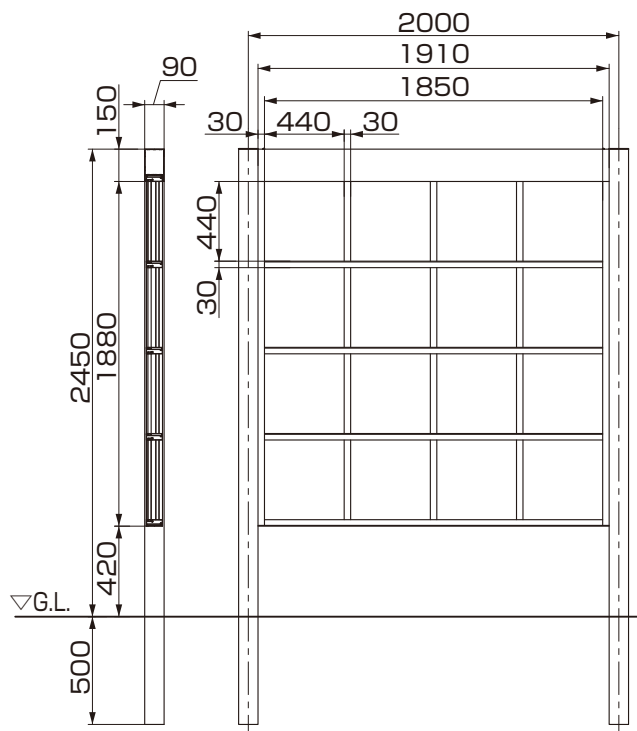
(3) フレームレス仕様W20-H15



(4) フレーム付け仕様 W15



(5) フレーム付け仕様 W20



4. 縦部材の取付け

4-1 縦部材 W15の場合

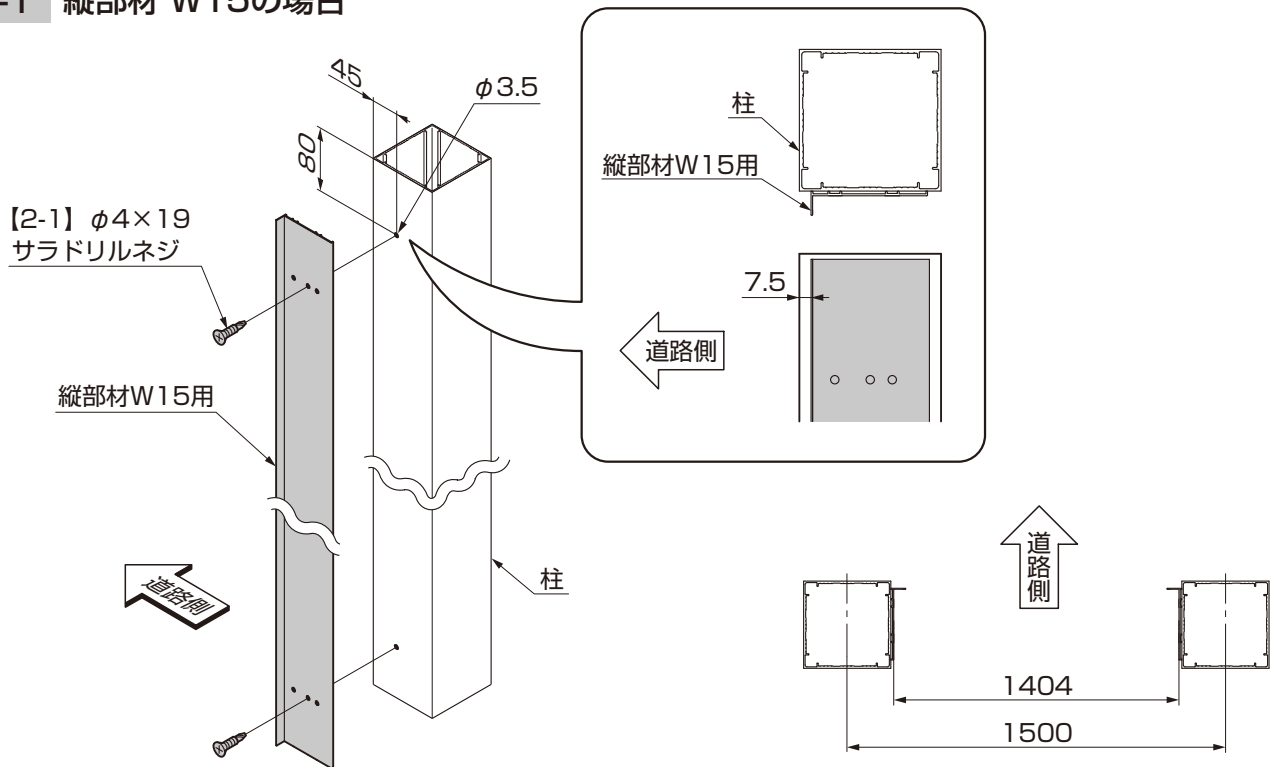


図4-1 フレームレス仕様の場合

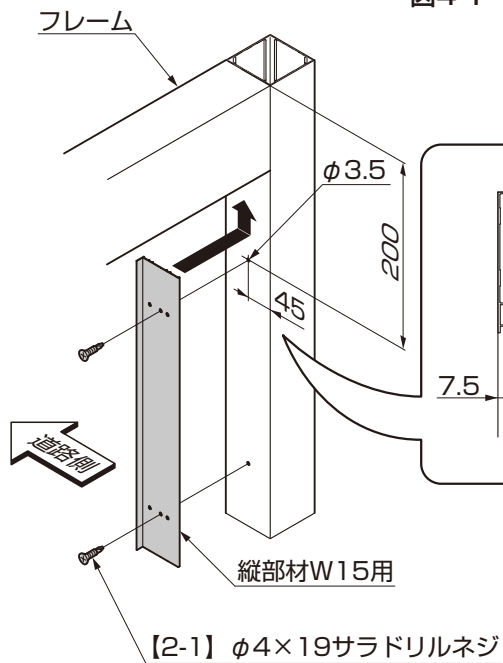


図4-2 フレーム付け仕様の場合

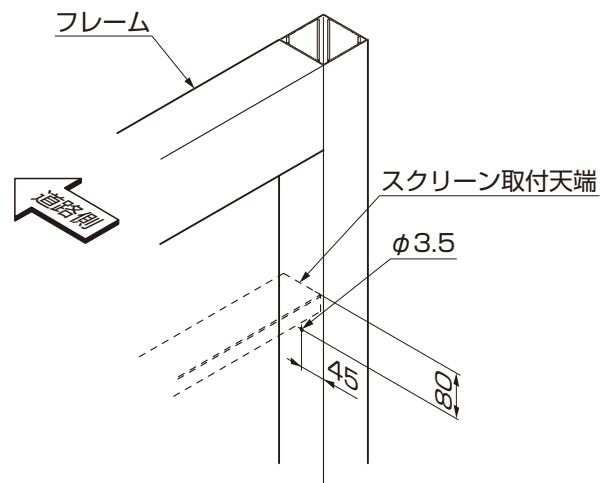


図4-3 柱の任意の位置に取付ける場合

- ① 柱に縦部材仮止め用の穴 $\phi 3.5$ をあけてください。
- ② 柱に縦部材を【2-1】で取付けてください。

ポイント

- 柱にスクリーンを任意の位置に取付ける場合は、図4-5のように仮止め用の穴をあけてください。
(W15、W20共通)

4. (つづき)

4-2 縦部材 W20の場合

(1) 縦部材の仮止め

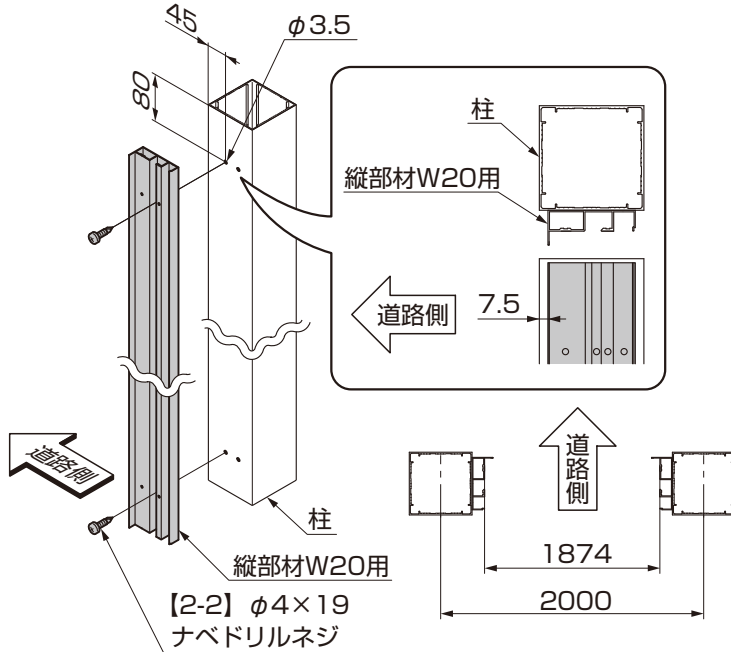


図4-4 フレームレス仕様の場合

- ① 柱に縦部材仮止め用の穴φ3.5をあけてください。
- ② 柱に縦部材を【1-1】※1、【2-2】で取付けてください。

補足

- ※1はH15の場合です。

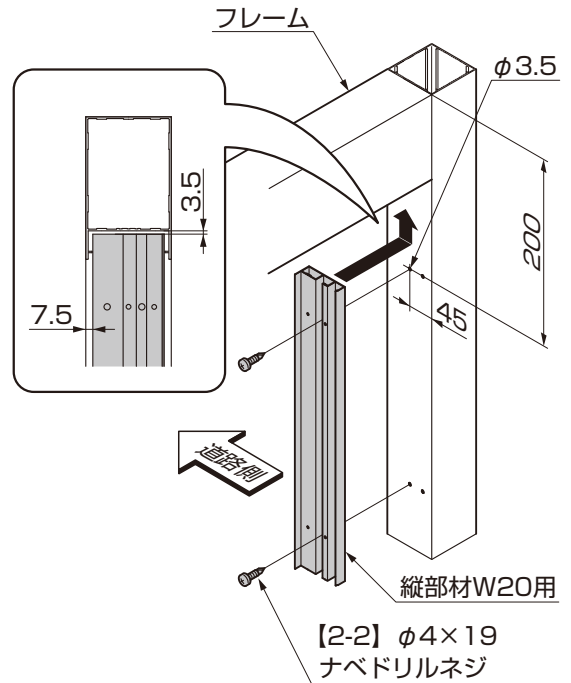


図4-5 フレーム付け仕様の場合

(2) 縦部材W20-H15の固定

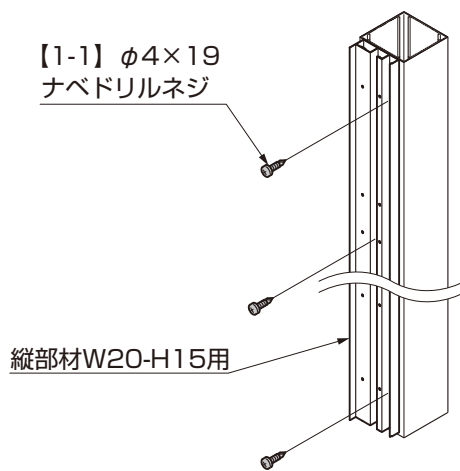


図4-6 H15の場合

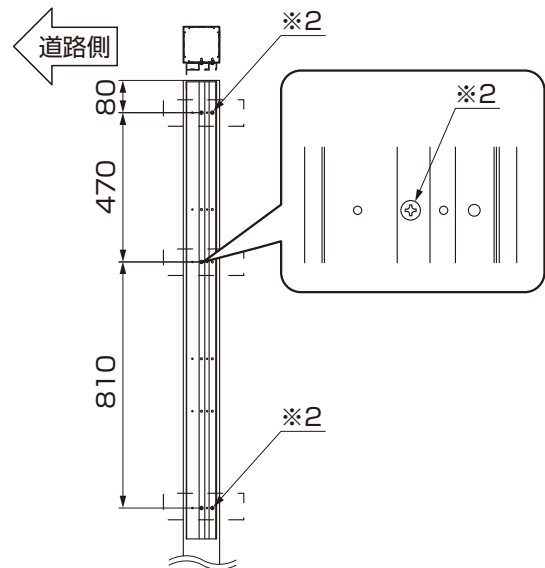


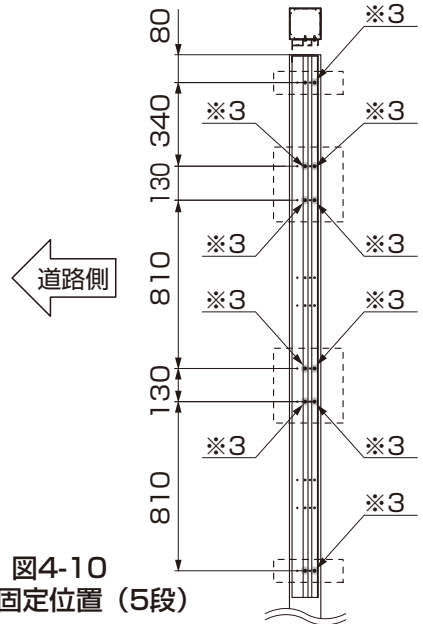
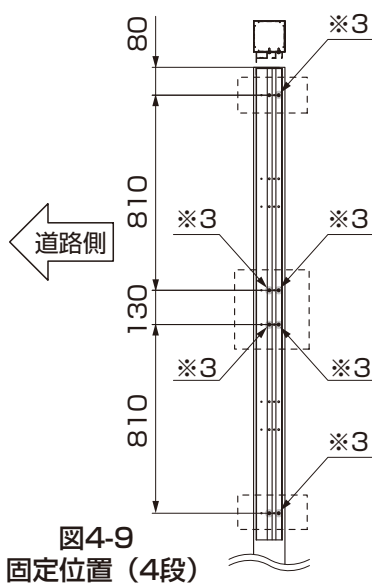
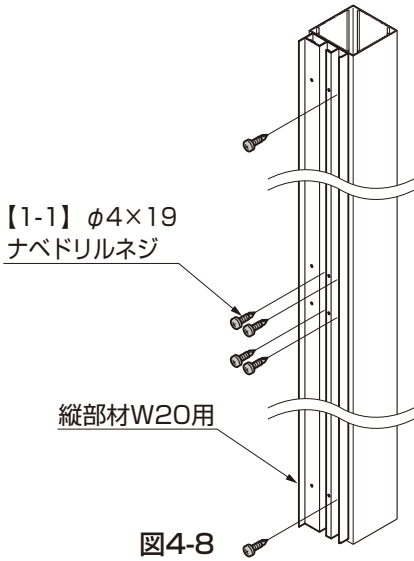
図4-7 H15固定位置

- ① 柱に縦部材W20-H15用を【1-1】で取付けてください。

補足

- ※2はネジ固定位置を示します。

(3) 縦部材W20用の固定



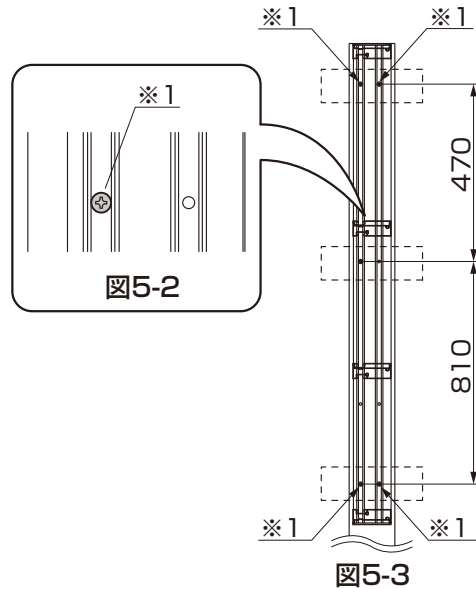
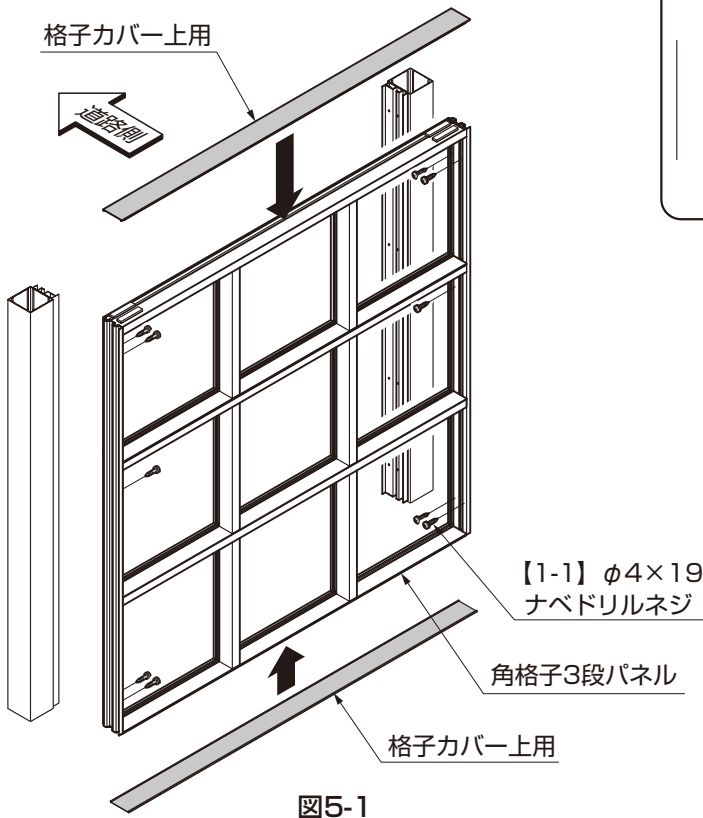
①柱に縦部材W20用を【1-1】で取付けてください。

補足

●※3はネジ固定位置を示します。

5. 角格子パネルの取付け

5-1 H15角格子3段パネルの場合



①縦部材に角格子3段パネルを【1-1】で取付け(※1)してください

ポイント

- 格子取付けのかん合は確実に行ってください。
- 図5-3を参照して※1の位置へ固定してください。

②角格子の上下に格子カバー上用をはめ込んでください。

5. (つづき)

5-2 フレームレス仕様の場合 ※図はW15を示します。

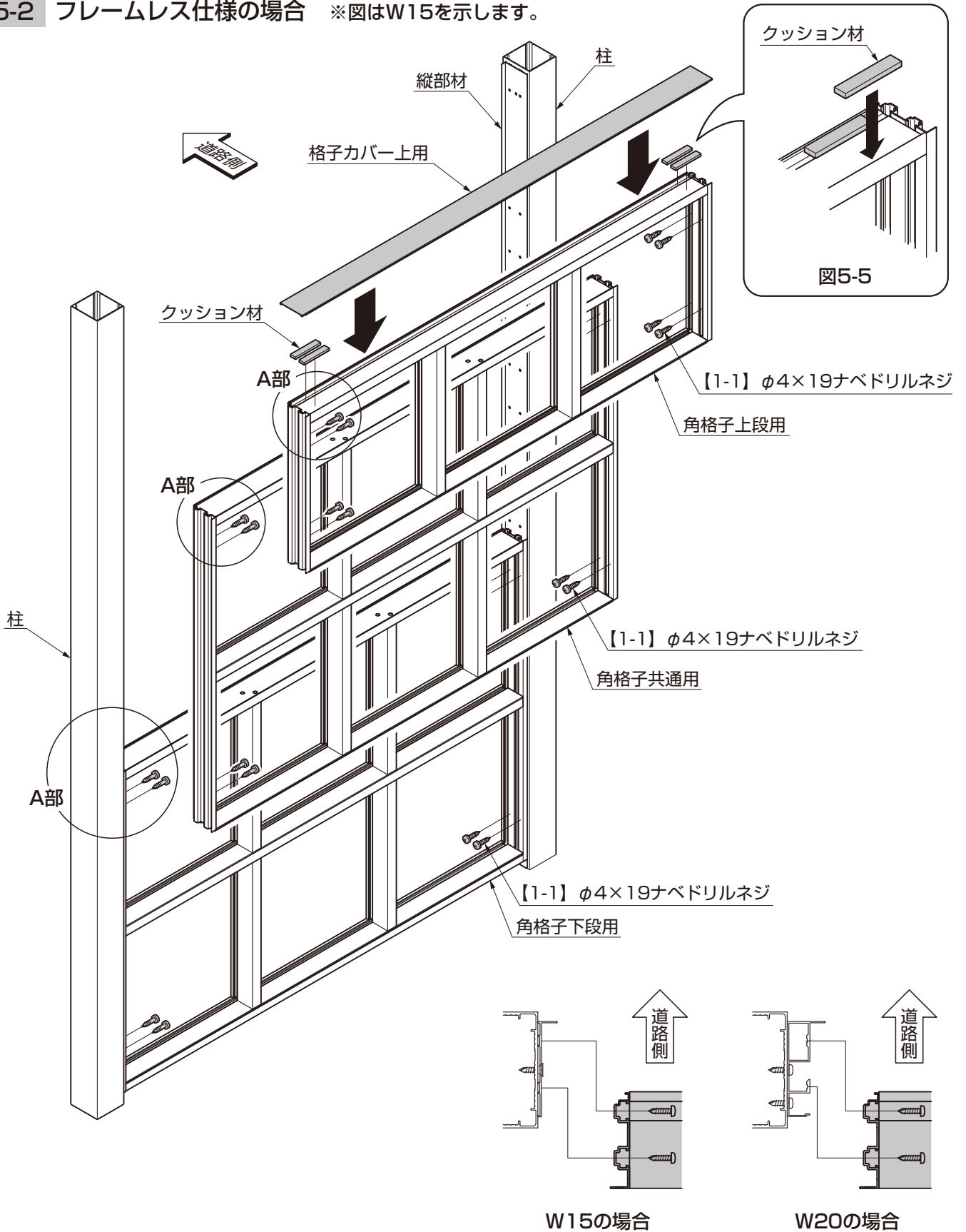


図5-4 A部断面詳細図

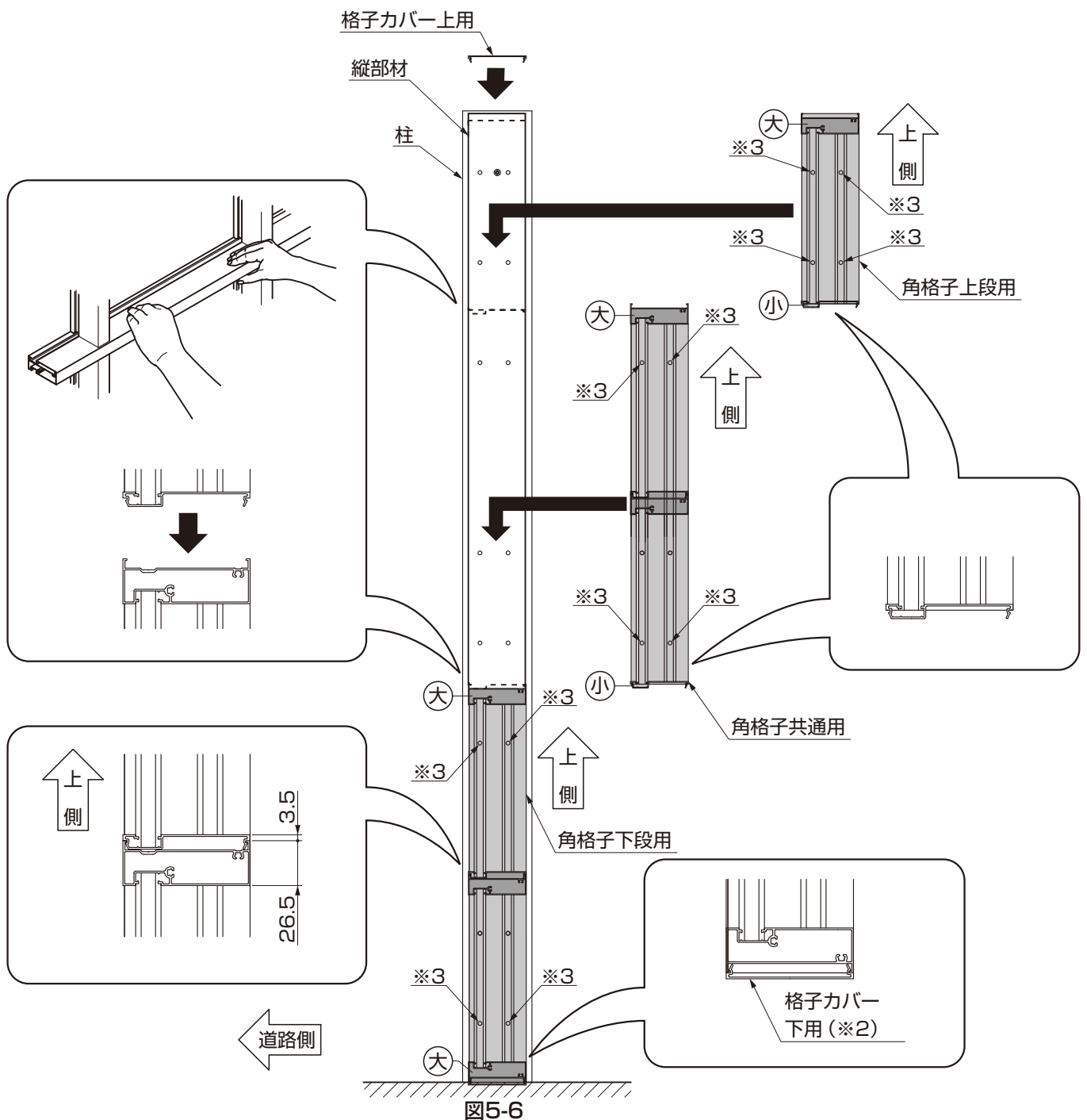


図5-6

①縦部材に角格子を【1-1】で取付け(※3)てください。

ポイント

- 角格子には種類と上下があります。※2の格子カバー下用が取付けてある角格子パネルが下段用です。
- 角格子の部材の(大) (小)の向きを確認しながら取付けてください。
- 角格子は下側から上側の順に取付けてください。
- 格子取付けのかん合は確実に行ってください。
- 図5-6を参照して※3の位置へ固定してください。
- 角格子フレーム付用を独立施工する場合は角格子上段用はありません

②最上段の角格子パネル両端外側にクッション材を貼付けてください。(図5-5参照)

③角格子上に格子カバー上用をはめ込んでください。

5. (つづき)

5-3 フレーム付け仕様の場合

※図はW15を示します。

※フレームカバーを取付ける前に行なう作業です。

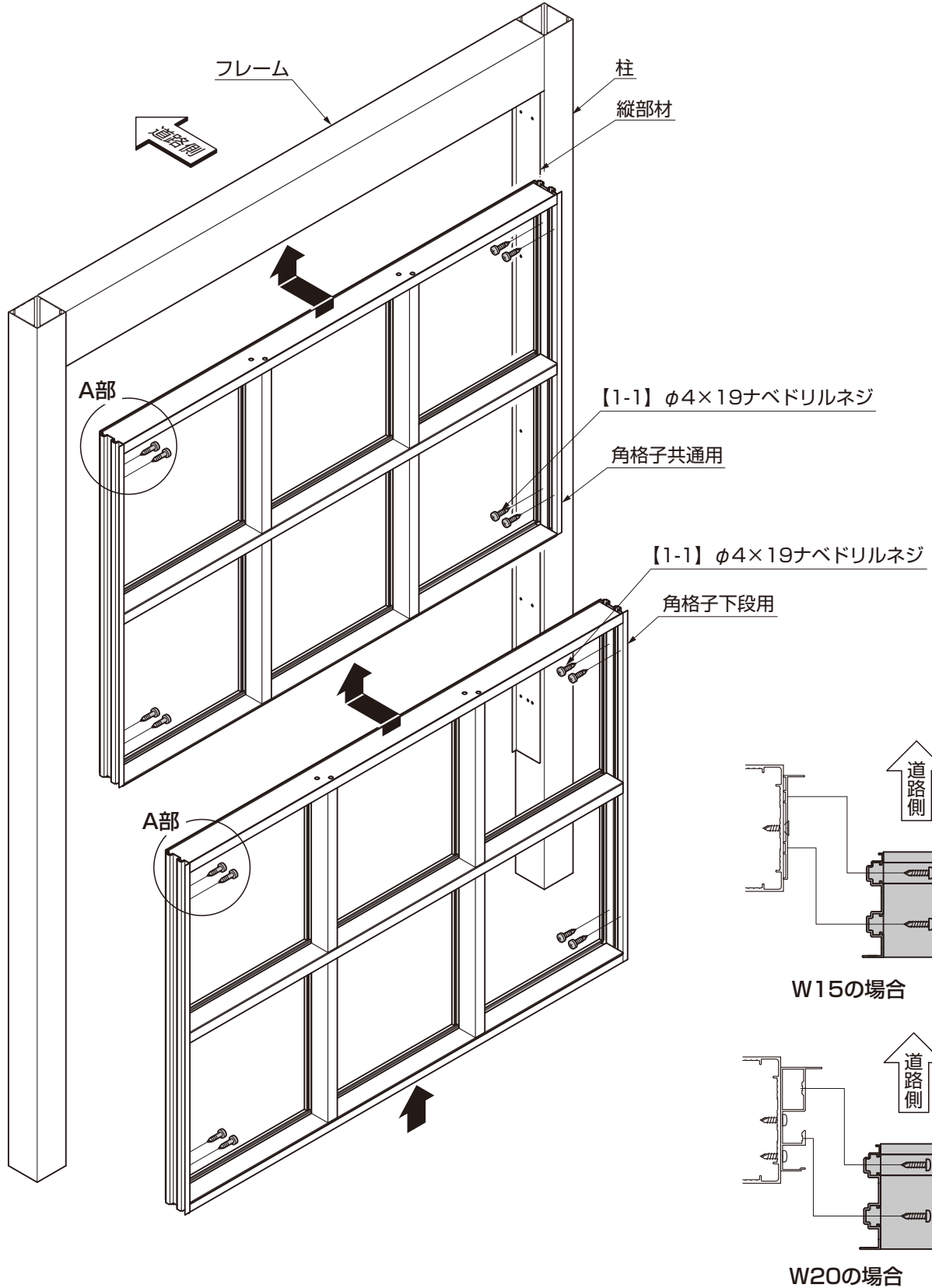


図5-7 A部断面詳細図

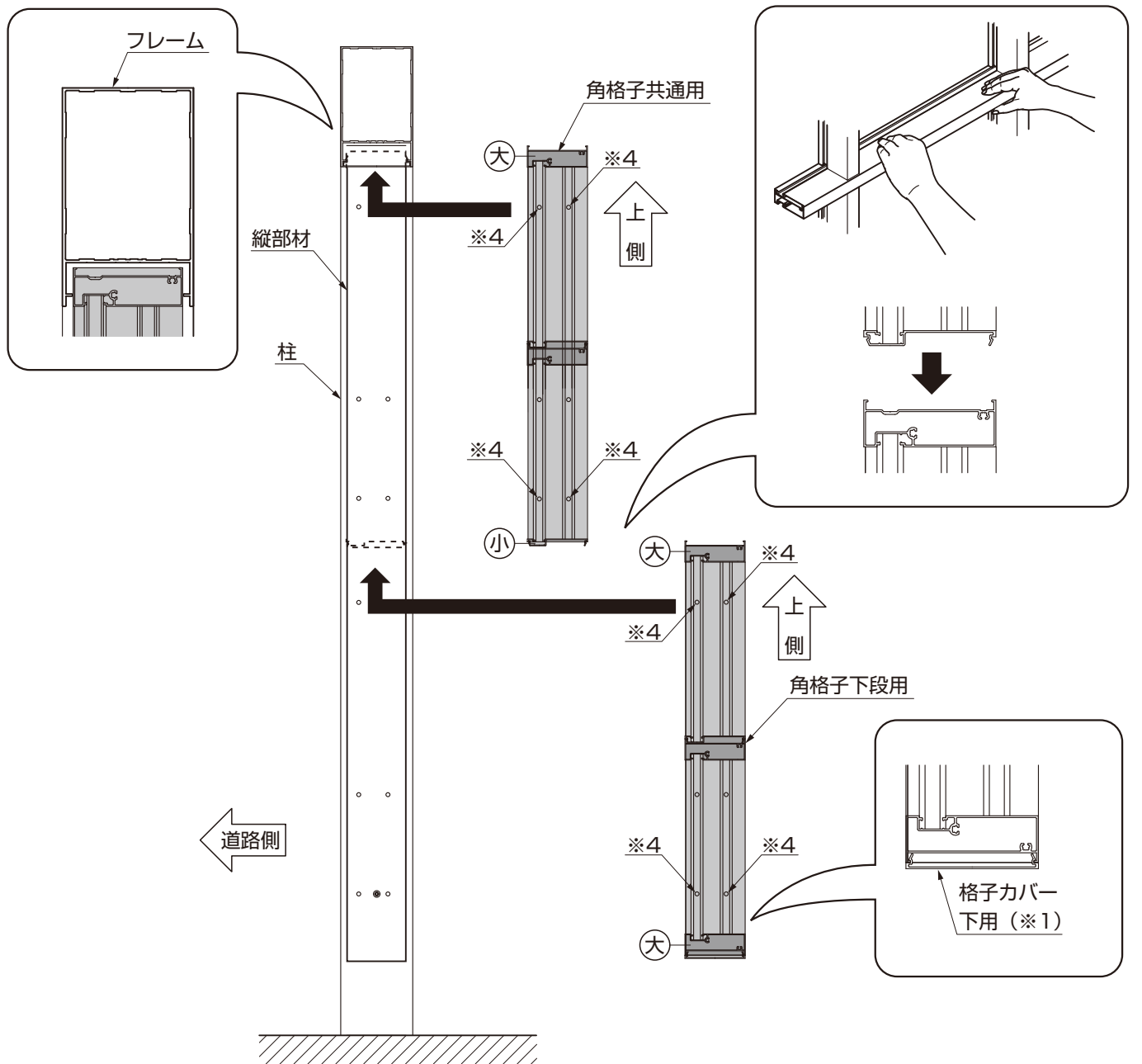


図5-8

①縦部材に角格子を【1-1】で取付け(※4)てください。

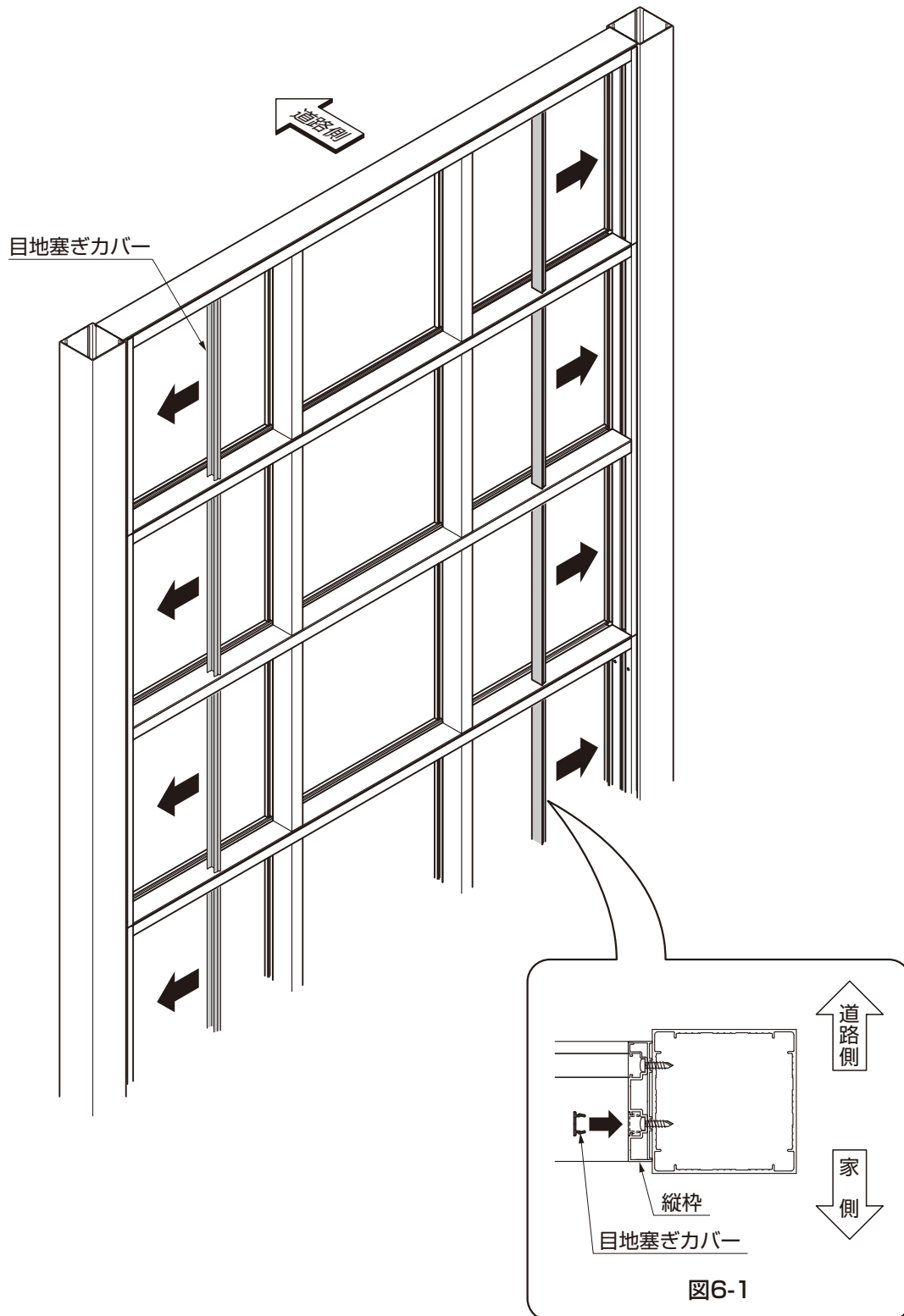
ポイント

- 角格子には種類と上下があります。※1の格子カバー下用が取付けてある角格子パネルが下段用です。
- 角格子の部材の(大) (小)の向きを確認しながら取付けてください。
- 角格子共通用をフレームへのみ込ませて上側から下側の順に取付けてください。
- 格子取付けのかん合は確実に行なってください。
- 図5-8を参照して※4位置へ固定してください。
- H29フレームに角格子フレームレス用を取付ける場合の格子最上段は「角格子上段用」になります。

補足

- フレーム仕様の場合、フレームカバー、格子カバー上用とクッション材は使用しません。

6. 目地塞ぎカバーの取付け



①角格子の縦枠の家側溝に目地塞ぎカバーをはめ込んでください。

ポイント

- 誤って道路側にはめ込まないように注意してください。パネルの取付けができなくなります。
- 目地塞ぎカバーの取付けは、プラスチックハンマーを使用するとスムーズに出来ます。

7. パネルの取付け

7-1 パネルを取付ける場合

重要な作業です。この作業を必ず行なってください。



図7-2

ポイント

●先付け部材ビットが3mm以上でていると、この後の取付けがしにくくなります。

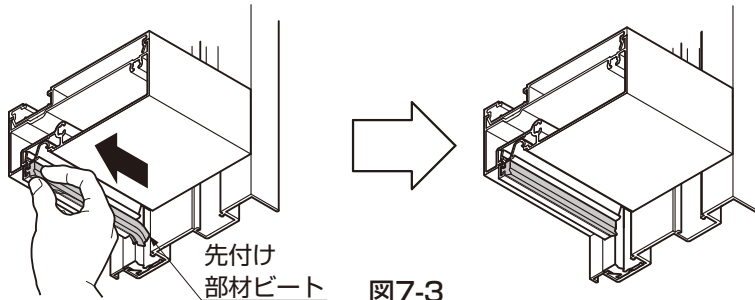


図7-3

ポイント

●先付け部材のビットを内側へ押込み、枠内に納まっていることを確認してください。

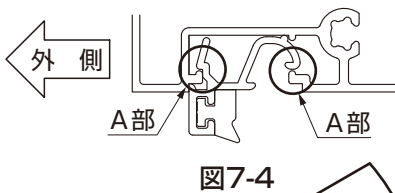


図7-4

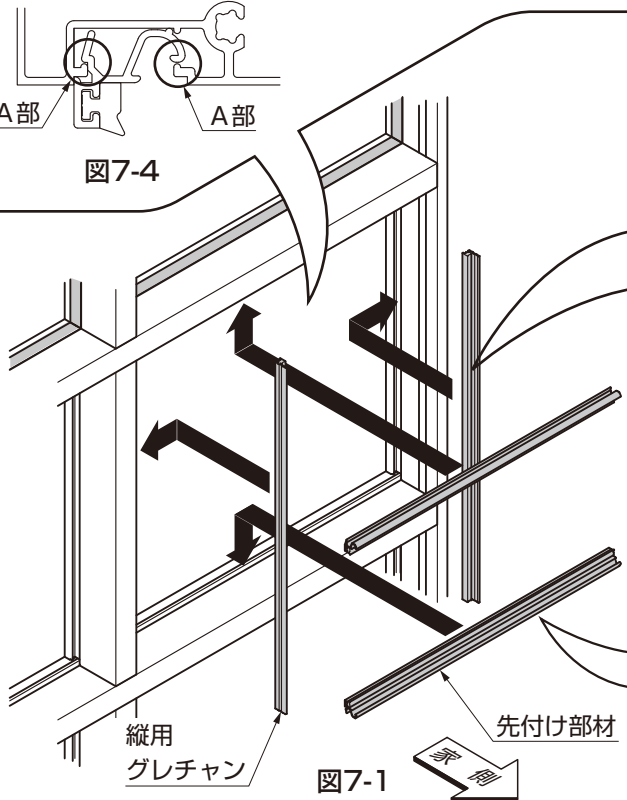


図7-1

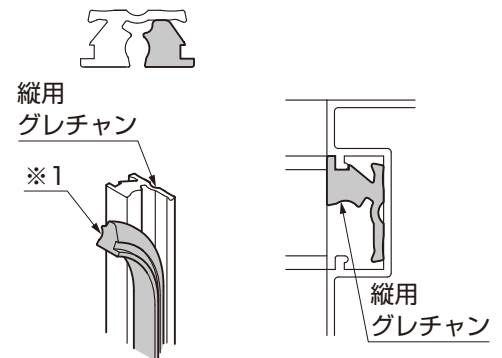


図7-5 縦用グレチャンのはめ込み

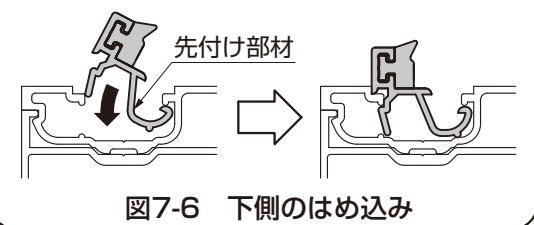


図7-6 下側のはめ込み

- ①縦用グレチャンを図7-5を参考に裂き、角格子にはめ込んでください。(図7-5参照)
- ②先付け部材のビットを両側3mm出るように長さをカットしてください。(図7-2参照)
- ③先付け部材を角格子に取付けてください。(図7-1、図7-3、図7-4、図7-6参照)

ポイント

- パネルは現場で自由な位置に取付けることができます。
- 先付け部材がA部の位置になるように外側に押してください。(図7-4参照)
- ※1は角格子パネルはめ込み後に使用します。(図7-5参照)

7. (つづき)

7-1 つづき

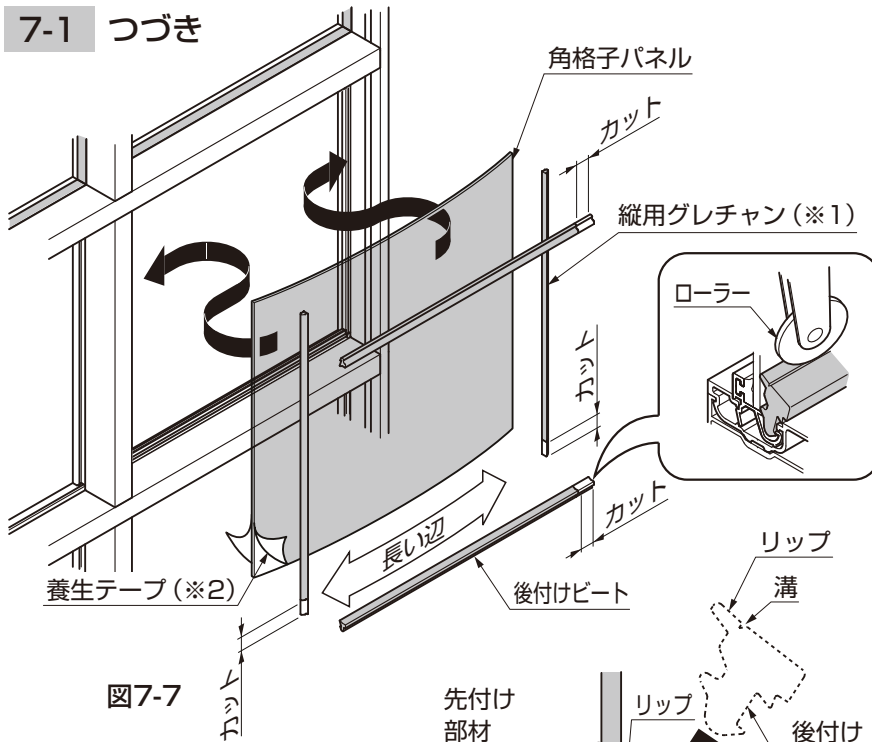


図7-7

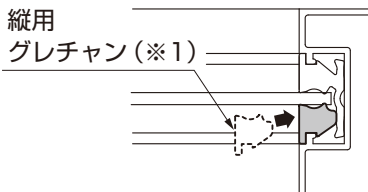


図7-8

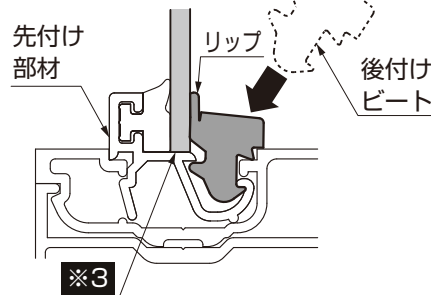
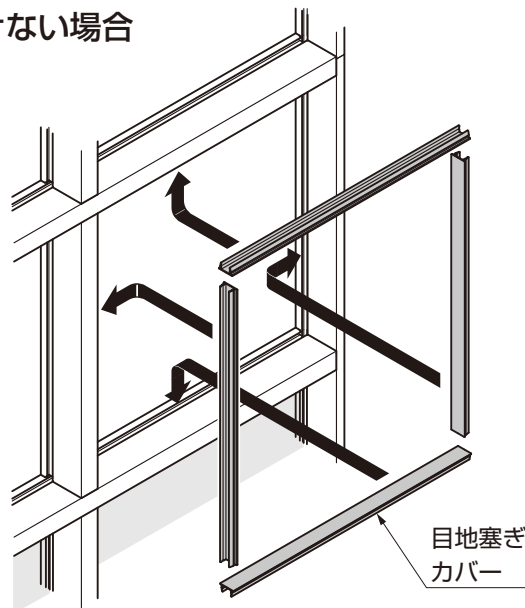


図7-9

7-2 パネルを取付けない場合



- ③角格子パネルの養生テープ(※2)をはがしてください。
- ④角格子パネルを角格子にはめ込んで、先付け部材に乗っていることを確認(※3)してください。(図7-7、図7-9参照)

ポイント

- 角格子パネルには方向があります。長い辺を左右にして取付けを行なってください。
- 角格子パネルは反らしてはめ込みを行ないます。

- ⑤①で裂いた縦用グレチャン(※1)を角格子にはめ込んでください。(図7-8参照)

- ⑥後付けビートを角格子にはめこんでください。(図7-9参照)

ポイント

- 縦用グレチャン、後付けビートは角格子内側寸法より、3mm長めにカットしてください。
- 溝部分を工具を使ってリップが立上がるまで、押込んでください。
- 市販のローラーなどを使用すると取付けがスムーズに出来ます。

- ①角格子に目地塞ぎカバーをはめ込んでください。

ポイント

- 目地塞ぎカバーの取付けは、プラスチックハンマーを使用するとスムーズに出来ます。

取説コード

C366

JZZ614798H
200705A_1039
201607_1039